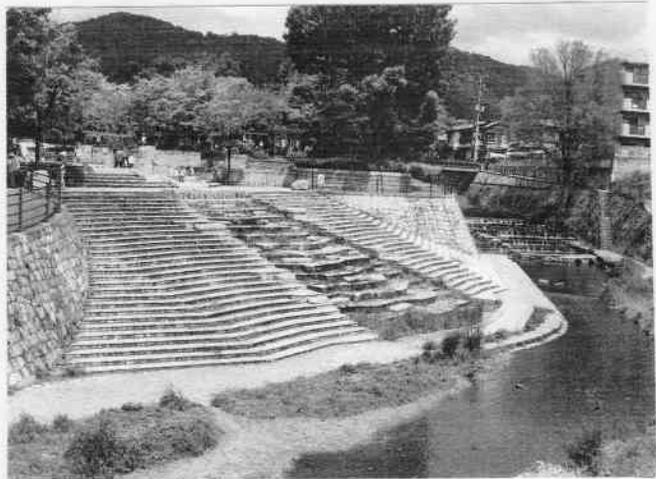


田村橋を渡りながら、紅葉橋を眺めると、先程とは異なった趣を感じます。田村橋は、桜ヶ丘の大正住宅博会場用地を提供した田村真策氏に因んで命名された、箕面市で唯一人名の付いた橋です。

桜ヶ丘 2丁目には、旧くからの落ちついた住宅街と、最近建った戸建て住宅の対比を楽しむことができます。桜低橋、途中田橋を渡り、箕面西公園に到達します。川岸の親水公園は夏場に子供たちの歓声で賑わいます。野



球場は都市対抗野球優勝の丸善石油（現コスモ石油）のホームグラウンドでした。公園北側に雑木が茂り、箕面の公園でも数少ない趣のある散策路です。

西小路高橋から左岸の細道で住宅地を抜けて、区画整備された箕面 6丁目の住宅地から府道箕面・池田線を横断する。さらに箕面川の左岸、正法寺の西側の細道を辿る。樹々の緑が心地よい。付近は蛍の名所で、雨の中を蛍の幼虫が川から上がって、細道

を経て寺の境内の土の中でサナギになるそうだ。

仰箕橋から西国巡礼道を辿り、終点の箕面駅に到着した。お疲れさまでした。

まちなみウォッチング 第49回

箕川の沿線

2010. 6. 19

青松園住宅から箕川に沿って散策

ウォッチングコース

歩行距離 約 4.0km

青松園前 BS → 青松園 1号公園 → 箕川左岸 → 外院集落 → 願生寺 → 粟生外院集落 → 帝釈寺 → 梅の植樹帯 → 市民農園 → 箕面東公園 → 箕川・郷之久保川合流点 → 北浦公園 → 小野原交差点

山麓線の北側、石丸 3丁目、外院 3丁目に拓けた、青松園住宅は、背後に北摂の山並みを控えた整然とした住宅街で、開発は外院側が昭和 53 年頃、石丸側は昭和 61 年山麓線開通





の頃です。二つの町の中央を千里 2号線が伸び、この道が箕面市を東西に分ける分水域となっている。つまり、石丸側の雨水は千里川を経て猪名川となり、外院側は箕川、勝尾寺川、茨木川、安威川を経て神崎川に注ぐ。

住宅街の最北部で箕川に接する。林道を遡及すると勝尾寺に通じる。箕川左岸の丘に上ると展望が開け、千里丘陵から遙か生駒山が見える。付近は市民が農作を楽しむ畑が沢山あり、さまざまな作物が育てられていた。



外院集落を抜けて山麓線の南側へ出る。この道の右手は「外院」左手は「栗生外院」となっています。「外院」の地名は、帝釈寺が勝尾寺の別院ということに因る。しかし、何故二つの「外院」が在るのだろうか。理由は此の道が国境だったからです。「外院」は麻田藩豊嶋郡、「栗生外院」は茨木藩島下郡だったのです。現在も小・中学校校区が別れています。

帝釈寺は、聖徳太子の創建と伝えられ、



本尊の帝釈天立像、地蔵菩薩立像、11面観音立像、毘沙門天立像など、多くの美術品が残されている。また、節分の火渡り行事も行われる。境内から箕川に大きく枝を伸ばしていた枝垂れ桜が、弱っているのは残念だ。

箕川が栗生外院 3丁目に沿って流れると、左岸堤防に沢山の梅の記念植樹がされている。箕川・水とみどりの会が呼び掛け、3年間に107本が植えられ、それぞれに「子供の入学記念」「結婚記念」など個々の人生の記録の



プレートが付けられ、毎年花の頃「梅まつり」が催されている。右岸には市民の農園が広がっている。

栗生新家 2丁目には、箕面東公園があります。北側の里山に上ると、千里丘陵が目の前に連なり、小野原の住宅街が一望出来ます。



松や竹に囲まれた里山には遊具が無く、子供の自由な発想で遊べる仕組みです。

小野原西交差点の近くで、郷之久保川と合流した箕川は、東へ流れて茨木市域へ入ります。

タウンウォッチングは、小野原交差点まで歩きました。



まちなみウォッチング 第50回

桜ヶ丘・新稲 地域

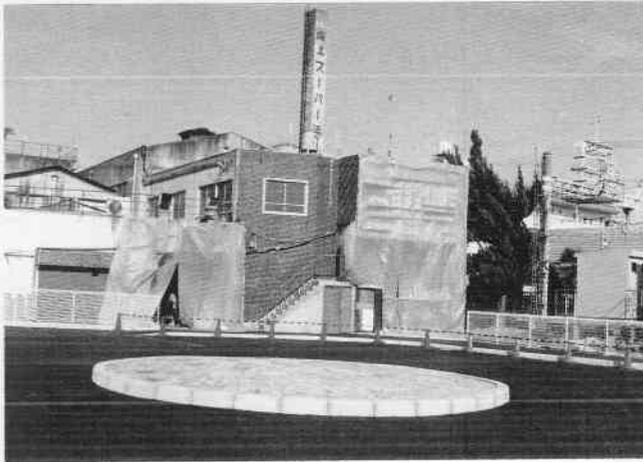
2010. 7. 17

止々呂淵凹地から新稲へ街並み探索

ウォッチングコース

歩行距離 約 4.0Km

桜井駅 → 牛回し → 善太川原橋 → 止々呂淵凹地 → 止々呂淵公園 → 新稲西公園 → 雑木林の道 → 新稲集落 → 桜池 → 第一中学校 → 箕面駅



桜井スーパーは、再開発計画でコンクリートの建物が撤去された。この施設は昭和34年に開業し、その後銭湯「階上スーパー温泉」などを増築して大盛況だった。当時は箕面市域にスーパーが無かったため、チャーターバスで小野原から池田の井口堂まで、連日客を運んだ。最盛期は大阪万博の頃で、その後の車社会への転換が遅れた。

西国街道、半町の牛回しなどを通り、自

動車教習所の東端の善太川原橋を渡る。「善太川原」は、南桜ヶ丘住宅付近の旧字名です。

整然とした住宅街を抜けると、両側から高い崖が迫ってくる。最近では戸建住宅が並ぶが、この凹地が半町の止々呂淵で、両側の崖の上は新稲の中尾地区（いずれも現在は桜ヶ丘）だった。崖の上は早くから住宅街となり、モダンな市営住宅なども建っている。





止々呂淵凹地の北半分は、昭和 52 年に止々呂淵公園となった。周囲の住宅地より低く、当初は池があった。利用者の年齢層も変わり、ゲートボールを楽しむ人々、花作りで公園の美化に取り組む方々もおられる。最北端に児童遊園があるが、利用者が減っている。

新稲寺付近が中尾集落の中心地であったが、旧家が全く無く面影も無い。

中央線を越えて新稲 7丁目を北上すると、

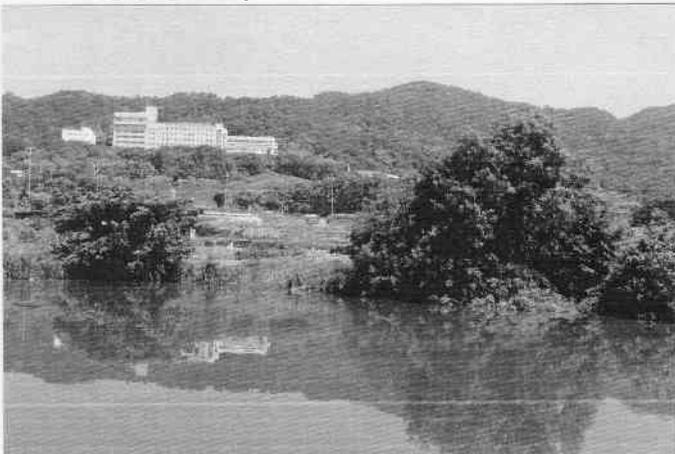
新しい戸建住宅が並んでいるが、天使幼稚園の跡地だった。北へ進み新稲西公園に到着する。遊具も多く、花壇も整備された公園で、近くに髪切塚古墳跡もある。

公園を出発すると、雑木の樹林を通る。武蔵野を連想させる小道だった。付近は砂礫層が多く、保水力が無い地質なので、稲作に不適で果樹や庭木などの苗木を育てている。新稲集落に造園業者が多い理由でもある。

新稲集落は、長屋門の家が多く、虫籠窓の建物、美しい庭、家々を繋ぐ細い路地など、伝統を継承しており、箕面でも旧集落の佇まいを色濃く残す貴重な地域です。

新稲 4丁目の桜池は、山なみ景観との調和を確認する眺望点の一つです。今後山すそ部に建設計画を行う際に、この眺望点からのシュミレーションの提出が求められる。

第一中学は、耐震校舎に建て替えられ、西側に大きなガラス面をもつ新校舎に、生徒が憩うサロンが完成している。サンサンと陽光が注ぐが、耐熱強化ガラスなので、夏の暑さや冬の寒さを感じさせない、羨ましい施設だった。教頭先生の懇切な説明に大満足し、箕面駅への道を進んだ。



まちなみパネル展

第15回

2011



★まちなみ会議活動記録★

- 4月 3日 第15回 まちなみパネル展 2011 終了
16日 タウンウォッチング ”彩都の丘学園を訪ねる”
5月 21日 タウンウォッチング ”観光ホテルから新稲古墳まで展望を楽しむ”
29日 23年度総会開催 活動計画、予算、役員選出など
6月11～21日 まちなみパネル展 市民活動センターで開催
18日 タウンウォッチング ”打越池から郷之久保川まで農業用水路を歩く”
26日 定例会議、活動状況報告、 ”箕面市みどりの基本計画” について解説
7月 1～ 日 ”箕面の祭り” パネル展示 萱野南図書館
7月 4～ 日 ”箕面のまちなかのみどりを探して” パネル展示 りそな銀行箕面支店
16日 タウンウォッチング ”麻田藩陣屋跡、カフェーパウリスタなど豊中歴史探訪”
20日 まちなみ通信・みのお 43 号発行

後編 編集 記録

・みのお市民まちなみ会議の会長が交代しました。活動開始以来長年リードしてこられた、直田さんから今枝さんにバトンタッチされた。一般的に若返りを連想しますが、若手が不足でベテランの登場となりました。巻頭言で新会長は「美しく人に優しい風景」とは何かを皆さんと共に考えたいと原点に

立った熱い思いを書いておられます。

・景観行政に長く携われた吉田さんが、みどりまちづくり部副部長として異動してこられた。早速寄稿をお願いし、ご多忙の中 ”「まちなみ会議」と二人三脚” を執筆頂いた。私達の会が誕生した頃の裏話を含めた経緯を記しておられます。新しい会員には非常に参考になる話です。新会長の思いと読み比べて、偶然にも景観に対する原点を感じます。

・私たちの活動の大きな柱であるタウンウォッチングを特集しました。箕面はみどり豊かな街と云われ、多くの市民も誇りに思っています。しかし仕事や子育てなど日常の生活に忙しく「魅力の在る場所は？」と、問われるとハタと戸迷います。みのお市民まちなみ会議では、タウンウォッチングを行い、皆さんと一緒に、美しい『みのお』の再発見に努めています。参加自由で「もみじだよりオアシス欄」に予告しております。

・シリーズの ”箕面を愛する活動グループ” では、小野原東で公園清掃や花壇作りを長年続け、近年は小学校の協力を得て、児童と共に活動し、住民と児童の結びつきを高めている ”ちょっとボランティアの会” の活動を紹介しました。 ”景観に配慮した色彩” は適当な例がなく休載し、代わりに国道 171号線などの沿道の広告看板を取り上げました。皆さんのご意見を期待致します。 ”VIVA箕面” は、会員が持ち回りで、好きな箕面の良い風景、街を紹介するものです。

(大町 凱彦)

発行: NPO みのお市民まちなみ会議 <http://minohmachinami.cocolog-nifty.com>

代表者: 今枝章平 ☎ 562-0046 箕面市桜ヶ丘 3- 1- 1

TEL&FAX 072-722-3253

郵便振込口座番号 0920-9-133953

